

顔の見える家造りネットワーク 近畿木づなの会

<http://www.kuga.co.jp/kizuna/>

平成25年度 国土交通省 【地域型住宅ブランド化事業】採択グループ



顔の見える家造りネットワーク 近畿木づなの会とは
職方(造り手)の顔が見える住まいを創造し、地域材をふんだんに使った木の家を提供する家造りの団体です。原木・製材・木材流通・設計・施工が協業一体となり、上質な住まいのご提供のため研究をかさねています。(平成24年度、25年度国土交通省の地域型住宅ブランド化事業にて『木づな(絆)の家』が採択を受けました。)

木づなの会メンバー構成



木づなの会は木材利用のを通じ地球環境にやさしい住まい造りを推進します。

木づな（絆）の家

木づな（絆）の家は木の性質や性能をふまえた長寿命な木造住宅です。

国土交通省長期優良住宅基準

+

木づな（絆）の家 仕様

- ・許容応力度計算にて「耐震等級2以上」を取得
- ・断熱性能は「省エネ等級4」を取得
- ・施主様の出身地域の材を一部使用する事（施主様の意向により使用しないケースあり）
- ・地域材は主要構造部で60%以上使用する事
- ・その他の部材（間柱・垂木など）で地域材を1立方メートル以上使用する事
- ・「木づかいCO2固定量認定書」を作成添付
- ・「本当に顔の見えるカード」を作成しお施主さまにお渡し
- ・WEBカメラを設置する事（お施主さまの意向により使用しないケースあり）
- ・住宅履歴管理（お引渡し後、無償・有償定期点検を実施）
- ・地盤調査を実施し地盤保証を添付
- ・所管行政庁による長期優良住宅建築計画等計画の認定を受ける



長期優良住宅は、劣化対策、省エネルギー性などの住宅性能が高く、良質な住宅ですが、当然その分の建築コストは一般住宅より高くなる傾向があります。しかし、良質な住宅を普及させ将来世代に継承するために、様々な優遇措置がはかられています。

詳しいお問い合わせは